

第64回
全国保育問題
研究集会



石川集会
速報
第3号

開会集会特集号

今回の加賀五彩は黄土色です。

開会集会オープニング 石崎豊年太鼓一徹



演奏は七尾市のお祭りの演目。演者の荒い息づかいが聞こえてきます。ホール全体に振動が伝わり、私たちの身体全体で全力での演奏を感じとることができます。

地元・七尾市で活動されている【石崎豊年太鼓一徹】さんの演奏です。会場も盛り上がっています。

いよいよ集会が始まる！そんな雰囲気を感じられるオープニングでした。



基調提案

なぜ石川集会が行われることになったのか

コロナ禍を経て学びを止めたくない、
石川の復興の応援をしたい思いで。

メインテーマにもある 「ゆたか」と「諦めない」

全国的な保育をめぐる状況

少子化危機

やっと配置基準の改善

諦めない行動を！

保育士不足

誰でも通園制度

保問研活動の発展のために

どんな困難なことがあっても、平和な社会と保問研の発展を目指して、実践と研究を深めていきたい。

私たちがどのような未来を
考えているのか。

生をつないでいくことに努

力をし続ける！



開会集会(基調でいい)
この全国保問研集会の
開催されるまでに震災も
あったこと、今までは
遠く大分はともありの全国の
人たちの力で石川の開催でいい
知、改めてお礼を言いた
い。不承とも感謝します。
広島 保問研 名前 神原 加菜



「もう一人保育士を」のアピール……
改善されたところもあるけれど、このまま
では終われない！
アンケートを全国で取り組もう

受付でお渡しした資料の中に
子どもたちにもう一人保育士を！【量から質へ】
世界水準の保育士配置基準を目指すアンケートにご協力を



記念講演



講師紹介

脚本家・小説家。2024年度前期

NHK連続テレビ小説「虎に翼」。

「語り合うこと」「多様性」「ゆたかに生きること」……現場で保育をしているときに、子どもたちのことを語り合っているときに……大切なことをたっぷりと語って頂きました。

一人ひとりが対等平等な社会の実現の為に今、考えたいこと

生きづらさを抱える人やケアする人の評価が低いこと、またそれが過去のことではなく現代も変わらず続いているということを描きたかった。

脚本を書くために資料を読んでいると、虎に翼の時代にあったことと、現代で取り上げられている問題には同じ課題が横たわっていると感じた。知らなかっただけで、LGBTQの問題は昔もあった。ただ、見ないようにしてそのことについて語り合うことを先送りした結果、最近のことのように誤認識してしまう。

感想

これまでの作品ではこのシーンが好きやこの人が好きなどの感想が多かったが、虎に翼に対する感想では、自分の経験を伝えてくれる人が多かった。自分の話を聞いてもらうってハードルが高い。物語をきっかけに話してもらえたことは良かった。

記念講演を聞いて
虎に翼も見たいなと思った
正直、本田さんを知りたかった自分
でが、本田お話しが主けるかと
楽しみにしていました。
特に、「声出す」「言葉にしたい」と
ころにとても感動したし、意識は
棉衣自ら声に出して話さなくていい
「言葉が言葉の方のお話しがよかった」と。
大島 保問研 名前 大塚 希

記念講演
人と意見対察し合わせるとは。
とてもエネルギーがすごいと前々から
感じていて、いろいろ聞いてみたい前提に
あきらめして話を聴き取ることが
普段からのコミュニケーションの
大切さを痛感しました。「いかに話を
聴かせるか」を思っていました。
大島 保問研 名前 中尾 幸子

記念講演
クラスの担任同士の
コミュニケーションをとる時、
職員集団で聞いて大抵に
あることについてお話し
が聞けました。
愛知 保問研 名前 酒井

